



“分子で細胞死を探る”

JST-ERATO

袖岡生細胞分子化学プロジェクト

最終成果報告会

ご挨拶

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素よりERATO袖岡生細胞分子化学プロジェクトに格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2008年10月にスタートしました本プロジェクトは、2014年3月末をもって終了いたします。その間、脳梗塞などの病気とも深く関係する細胞死「ネクローシス」に焦点をあて、低分子化合物と化学的な手法の開発を通して、その分子メカニズムを明らかにすることを旨とした研究を行ってまいりました。今回、これまでの研究成果についてご報告させていただくとともに、関連分野を牽引されておられるおふたりの先生の特別講演を含めて、最終成果報告会を開催することにいたしました。

つきましては、時節柄寒い時期ですが、万障繰り合わせの上ご来臨賜りますようお願い申し上げます。

研究総括 袖岡 幹子

開催要領

日時： 2014年1月15日（水）13:00～18:00

会場： 東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール（東京都文京区本郷7-3-1）

参加費： 無料（250名）

お申し込み： 事前にE-mail等で住所、氏名、連絡先を明記の上参加可否をお知らせいただければ幸いです。なお、事前に参加申し込みなく直接会場へお越しいただく場合は、お名刺などを戴ければ幸いです。

お申し込みサイト：<http://kokucheese.com/event/index/134295/>

お問い合わせ： JST-ERATO 袖岡生細胞分子化学プロジェクト

日比野 erato-sodeoka-sympo@riken.jp

プログラム

はじめに

13:00~13:20 袖岡 幹子（理化学研究所 JST-ERATO 研究総括）

特別招待講演

13:20~14:05 橋本 祐一（東京大学 分子細胞生物学研究所 教授）
「タンパク質の寿命と局在のケミカルコントロール」

14:05~14:50 清水 重臣（東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授）
「生体の恒常性維持に寄与する様々な細胞死とオートファジー」

グループ研究報告

15:10~15:50 閻闡 孝介（理化学研究所 JST-ERATO 細胞死制御 GL）
「細胞死制御分子の開発とケミカルバイオロジー」

15:50~16:20 袖岡 幹子（理化学研究所 JST-ERATO 研究総括）
「標的分子同定のための化学反応」

16:20~17:00 藤田 克昌（大阪大学 JST-ERATO 生細胞解析 GL）
「細胞死を捉えるための新しいツール：ラマン散乱の利用」

まとめ

17:00~17:10 袖岡 幹子（理化学研究所 JST-ERATO 研究総括）

ポスターセッション

17:10~18:00 ERATO 研究員

○伊藤国際学術研究センター <http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/access.html>



本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）徒歩 8 分

本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）徒歩 6 分

湯島駅または根津駅（地下鉄千代田線）徒歩 15 分